

登録コード	HM129200	開講年度	2026				
授業題目	死因究明診断学特論					担当教員	浅村 英樹 他
英文授業名	Death Investigation Causes					副担当	原山 雄太
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能					日本における死因究明制度の現状と課題、死因究明の実務について説明できるようになる。	
(2)詳細 /Detailed information	死因究明の基本原則と法的側面、死因究明における解剖学的アプローチ、検査手法、特殊な事例について知識を習得する。						
(3)授業の概要 /Overview of course	法医学の業務としての検案-検視制度、司法鑑定や再鑑定の意義、手続き、種類、書式の作成、さらには法医解剖の種類や解剖と専門医制度について説明し、死因究明制度の現状と重要性、さらには死因究明実務に必要な知識について理解を得る。						
(4)授業計画 /Course plan	浅村英樹 第1回 法医学の社会的役割と検案・検視 第2回 個体死と解剖制度 第3回 死体現象 第4回 窒息 第5回 損傷 第6回 交通事故損傷 第7回 異常温度下の死 原山雄太 第8回 法中毒 第9回 児童虐待と小児の突然死 第10回 内因性疾患と突然死 第11回 異状死 第12回 性に関する法医学 第13回 死亡時画像診断 第14回 医事法学 第15回 死亡診断書と死体検案書						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	・成績評価の方法 毎回の小テストの採点結果（総合100点）を評価の基準とする。 小テストの設問は、毎回の授業内容から出題する。 ・成績評価の基準 90-100点：秀、80-89点：優、70-79点：良、60-69点：可、60点未満：不可とする。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	教科書：南山堂「法医学」改訂4版 監修：福島弘文、編集：船山真人、齊藤一之（P 1-206、289-370）。教科書を熟読した上で、授業で提示したスライド等を理解すること。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	随時質問を受け付ける。教室への来訪も可。						
(8)授業の形式 /Course format	授業・スライド提示・プリントの配布等。						